

平成25年度当初予算要求について

1 基本的な考え方

- 「県民幸福度日本一」の基本である、県民生活の「安定」「安全」「安心」を向上させ、幸福を実感でき、福岡県を元気にする取組みを推進。
- 長引く円高・デフレ、厳しい雇用情勢など、社会経済情勢への的確な対応。
- 職員定員の削減、事務事業の見直しなどの行財政改革を引き続き推進。

2 要求基準

(1) 歳出

① 義務的経費

- ・ 人件費については、職員定員の削減等の効果を織り込んだ額とする。
- ・ 社会保障費、公債費等については、所要額とする。

② 建設事業費

- ・ 補助公共事業費については、国の概算要求を踏まえ、全体として、平成24年度当初予算額の106%以内とする。
平成24年7月梅雨前線豪雨災害にかかる災害復旧・復興対策関連事業費についても、所要額を見込む。
- ・ 単独公共事業費については、平成24年度当初予算額の100%を基準とする。但し、国の経済対策により造成した基金事業については、別途、所要額とする。

③ 行政施策費

- ・ 事務事業見直しの結果を踏まえ、各部毎に通知した額の範囲内とする。

(2) 歳入

- ① 特定財源： 国庫支出金、分担金及び負担金、県債等については、歳出予算に対応し、適正な額を見積もる。
- ② 一般財源： 厳しい県財政の現状を考慮して、歳入の確保を図るため収入源を積極的に補足し、収入の増加に努める。

3 重点施策への取組み

- 治安の確保や雇用対策など、重要な政策課題に対する施策を推進するため、財源の重点配分を図る。

4 庁内分権の推進

- 各部への枠配分予算を拡大することにより、各部において自主的な事業の見直し、事業の重点化を図る。

【予算編成作業日程（予定）】

- ・ 財政課班長・担当査定 1 1月29日～
- ・ 財政課長査定 1 2月中旬～1月中旬
- ・ 総務部長査定 1 月中旬～1月下旬
- ・ 知事査定 1 月下旬～2月上旬